

2021年 東部部会 第5回 研究報告会の開催報告

日本中小企業学会東部部会の第5回オンライン研究報告会は、オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催され、活発な議論が展開されました。

■日時 2021年8月22日（日）11:00～12:10

■実施方法：Zoomによるオンライン報告

■参加者：17名

■【研究報告】

報告者：難波 正憲（立命館アジア太平洋大学名誉教授）

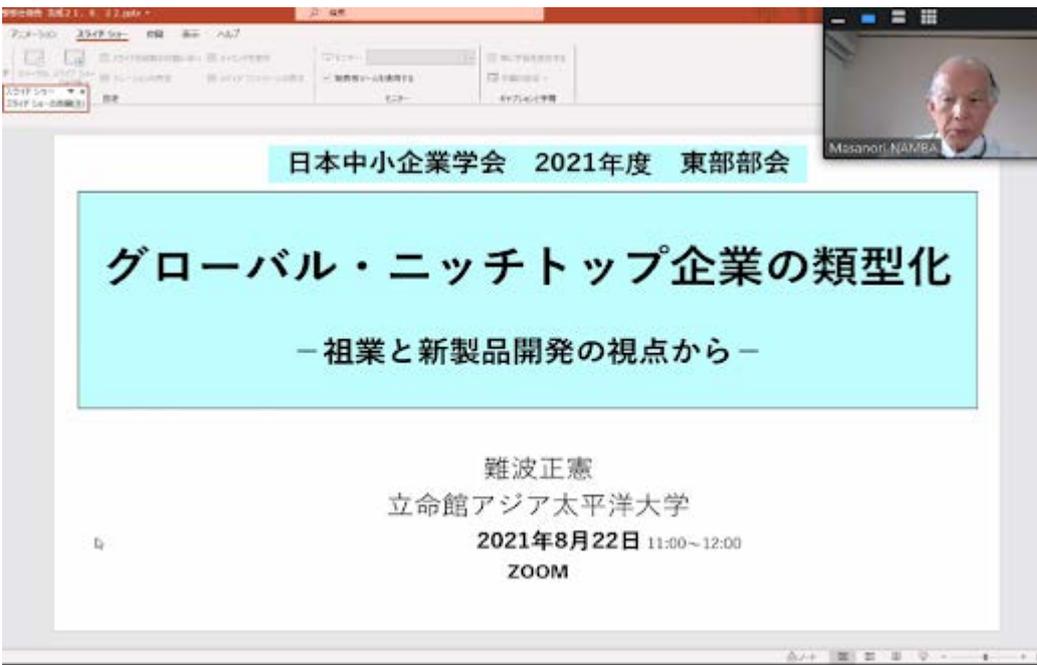
テーマ：「グローバル・ニッチトップ企業の類型化—祖業と新製品開発の視点から—」

ホスト・司会：堀潔（桜美林大学）

報告内容：

GNT（グローバル・ニッチトップ）企業の祖業と新製品開発との関連性が議論され、産業の新たな趨勢がみられる中、中小企業におけるGNT製品創出のプロセスと要因を明らかにすることの意義が示された。半構造インタビューによるアンケート調査の結果から、GNT企業の①祖業との関連における位置付け、②GNT製品の保有数、③GNT製品創出の経路・契機・背景の3つの切り口から類型化を行い、

それぞれの関連性が紹介された。また日本とドイツとの比較分析から、両国における差異が示された。日本企業は外部から持ち込まれたニーズ（社会趨勢の変化）に対応する形で蓄積された社内資源をGNT製品創出に結びつけていく特徴がみられる一方で、ドイツ企業は自らの積極対応によるニーズの探索から祖業を維持しながらGNT製品を増やしていく特徴がみられることが指摘された。報告後の質疑応答では、祖業離脱型のGNT製品開発と祖業における人材・技術・市場との関連、受け身対応と積極対応における要因の違いが与えるGNT製品創出への影響、資金調達の方法、国内中小企業経営者への示唆などが議論された。



The image shows a screenshot of a Zoom meeting. The main content is a presentation slide with a light blue background. At the top, it reads '日本中小企業学会 2021年度 東部部会' (Japan Small Business Association 2021 Annual Meeting Eastern Division). The title of the presentation is 'グローバル・ニッチトップ企業の類型化' (Classification of Global Niche Top Enterprises) with the subtitle '—祖業と新製品開発の視点から—' (From the Perspective of Legacy and New Product Development). The presenter is identified as '難波正憲' (Masahiko Naniwa) from '立命館アジア太平洋大学' (Ritsumeikan Asia Pacific University). The date and time are '2021年8月22日 11:00～12:00' and the platform is 'ZOOM'. In the top right corner, there is a small video window showing the speaker, Masahiko Naniwa.